

福島第一原子力発電所2号機 周辺ヤード整備工事の着手について

平成27年2月26日

東京電力株式会社



無断複製・開示禁止 東京電力株式会社

福島第一原子力発電所 2号機周辺ヤード整備工事の着手について

平成27年2月26日
東京電力株式会社

1. 目的

2号機原子炉建屋からのプール燃料および燃料デブリの早期取り出しに向け、燃料取り出し計画について複数のプランを検討した結果、周辺ヤード整備等の先行工事に時間を要するため、プール燃料と燃料デブリを兼用架構で取り出すプランとプール燃料取り出しに特化したプランを2016年度まで継続し検討することとした。

(平成26年10月30日公表済み)

燃料取り出し計画は継続検討中であるが、いずれのプランにおいても、燃料取り出し用架構や燃料取扱設備を設置するには、大型重機等の作業エリアが必要であるため、原子炉建屋周辺のヤード整備を実施する。

また、次工程でオペレーティングフロアでの資機材の撤去、除染等の作業が必要となるため、オペレーティングフロアにアクセスするための構台を設置する。

2. 実施内容

- ①原子炉建屋周辺の路盤整備（干渉物解体撤去を含む）
- ②オペレーティングフロアへのアクセス用構台の設置

3. 実施時期

H27.3~H28.7（予定）

4. 工事概要

■ 原子炉建屋周辺の路盤整備

- ・ 図1に示す、原子炉建屋西側と南側の干渉物の解体撤去を行い、その後路盤整備を行う
- ・ 解体作業に伴う粉塵飛散抑制策として、飛散防止剤の散布や散水養生を適宜実施する
- ・ 解体施設内の放射性廃棄物や解体に伴う発生する瓦礫等は、線量率に応じ構内の仮保管場所で適切に保管する

■ オペレーティングフロアへのアクセス用構台の設置

- ・ オペレーティングフロアへアクセスする構台を原子炉建屋西側に設置し、構台上には前室を設ける

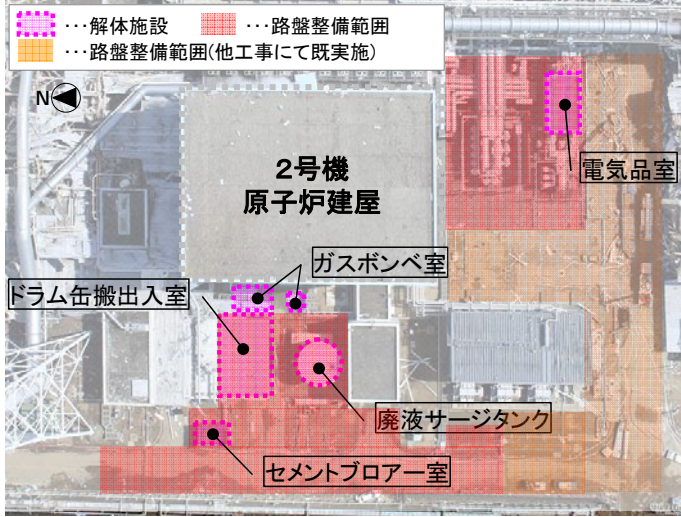


図1. 路盤整備範囲

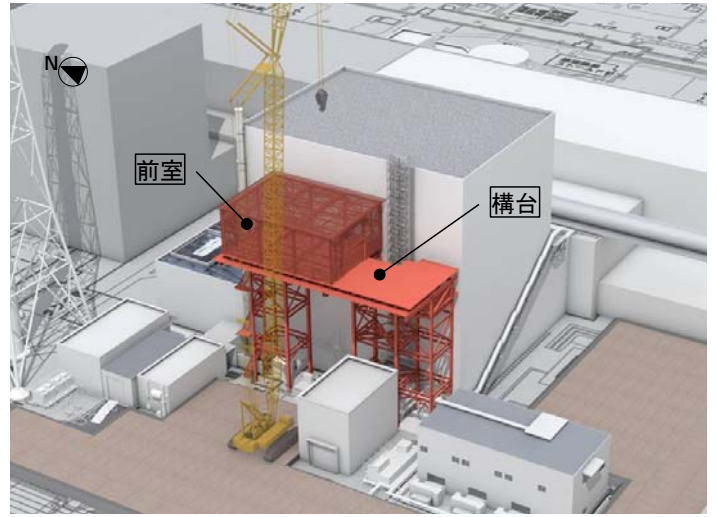


図2. 構台設置イメージ

